

今回は“レア”なピアノ協奏曲がズラリ♪
フランスに縁のある、同時代を生きた作曲家たちの作品を、俊英たちのエスプリに富んだ演奏で!



第48回 名古屋国際音楽祭

オープニング・ガラ・コンサート

Opening · Gala · Concert

ピアノ
福間 洸太郎*



©T.Shimmura

ピアノ
田所 光之マルセル*



©Shigeto Imura

指揮
川瀬 賢太郎



管弦楽 / 名古屋フィルハーモニー交響楽団

Program

プロコフィエフ / ピアノ協奏曲 第1番 変ニ長調 Op.10*
ガーシュウィン / 「アイ・ガット・リズム」変奏曲*
サン＝サーンス / ピアノ協奏曲 第5番 へ長調 Op.103 「エジプト風」**
プーランク / 2台のピアノのための協奏曲 ニ短調 FP.61*、**

4/20日

15:00開演 (14:15開場)

愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 7,000円 A席 6,000円 B席 5,000円
C席 4,000円 D席 3,000円

※車椅子(S席)のお客様はご購入前にアイ・チケットまで必ずお問合わせください。
※入場料金には消費税が含まれます。
※やむを得ない事情でプログラム内容、出演者が変更になる場合がございますのでご了承ください。
※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

お問合せ

CBCテレビ 事業部

TEL(052)241-8118 10:00~18:00(土・日・祝日休み)

主催 / CBCテレビ 後援 / 愛知県・中日新聞社・CBCラジオ

チケットのお求めは 一般発売11月23日(土・祝)

- アイ・チケット 0570-00-5310
<https://clanago.com/i-ticket>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp> + PCコード 281-214
- ローソンチケット <https://l-tike.com> + LCコード 41081
- e+(イープラス) <https://eplus.jp>
- 芸文プレイガイド 052-972-0430
- 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755
- 栄プレチケ92 052-953-0777
- CBCチケットセンター <https://www.funity.jp/cbc-ticket/>

最新情報は、CBCテレビのホームページで
ご確認ください。

CBC 名古屋国際音楽祭



CBCテレビ



第48回

名古屋国際音楽祭 オープニング・ガラ・コンサート

Opening Gala Concert



©Shigeto Imura

Pianist

田所 光之 マルセル

Marcel Tadokoro

2021年のエリザベート王妃国際コンクールでセミ・ファイナリスト、モントリオール国際音楽コンクールではファイナリストとなり、2022年はヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールでジョン・ジョルダノ審査員長特別賞、サンタンデル国際ピアノコンクールでは第3位を受賞。一躍脚光を浴びた。これまでにウラル・フィルハーモニー管弦楽団、フォートワース交響楽団、ワロニーロイヤル室内管弦楽団などのオーケストラと共演。日本人の父とフランス人の母の間に生まれ、多様な文化の中で育った幼少期は、田所の音楽観に多大な影響を与えた。8歳よりピアノをはじめ、名古屋市立菊里高等学校音楽科卒業後、パリ国立高等音楽院に満場一致の首席で入学。同時期に行われたドビュッシー国際コンクールでは第2位を受賞するなど、渡欧と同時に早くも彼の才能が認められている。そしてジャン＝フランソワ・エッセール、フローラン・ポファール両氏のもとで学んで同音楽院ピアノ科を卒業し、続いて同音楽院の修士課程を修了するまでに、数多くのコンクールで受賞を果たした。その後も彼のピアノへの探究心は留まることなく、パリのエコール・ノルマル音楽院に奨学生として入学。レナ・シェレシエフスカヤ氏のもとでさらに自らの音楽に磨きをかけている。ほかにオリヴィエ・ガルドン、マルク・ラフォレ、アレクサンダー・ロマノフスキー、海老彰子、長野量雄、田島三保子、鈴木彩香の各氏からも教えを受け、田所は自身の音楽をより一層厚みのあるものにしていく。

2021年のエリザベート王妃国際コンクールでセミ・ファイナリスト、モントリオール国際音楽コンクールではファイナリストとなり、2022年はヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールでジョン・ジョルダノ審査員長特別賞、サンタンデル国際ピアノコンクールでは第3位を受賞。一躍脚光を浴びた。これまでにウラル・フィルハーモニー管弦楽団、フォートワース交響楽団、ワロニーロイヤル室内管弦楽団などのオーケストラと共演。日本人の父とフランス人の母の間に生まれ、多様な文化の中で育った幼少期は、田所の音楽観に多大な影響を与えた。8歳よりピアノをはじめ、名古屋市立菊里高等学校音楽科卒業後、パリ国立高等音楽院に満場一致の首席で入学。同時期に行われたドビュッシー国際コンクールでは第2位を受賞するなど、渡欧と同時に早くも彼の才能が認められている。そしてジャン＝フランソワ・エッセール、フローラン・ポファール両氏のもとで学んで同音楽院ピアノ科を卒業し、続いて同音楽院の修士課程を修了するまでに、数多くのコンクールで受賞を果たした。その後も彼のピアノへの探究心は留まることなく、パリのエコール・ノルマル音楽院に奨学生として入学。レナ・シェレシエフスカヤ氏のもとでさらに自らの音楽に磨きをかけている。ほかにオリヴィエ・ガルドン、マルク・ラフォレ、アレクサンダー・ロマノフスキー、海老彰子、長野量雄、田島三保子、鈴木彩香の各氏からも教えを受け、田所は自身の音楽をより一層厚みのあるものにしていく。



©Koutarou Washizaki

Pianist

福間 洸太郎

Kotaro Fukuma

20歳でクリーヴランド国際コンクール日本人初の優勝およびショパン賞受賞。パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学、コモ湖国際ピアノアカデミーにて学ぶ。これまでにカーネギーホール、リンカーン・センター、ウィグモア・ホール、サントリーホールなどでリサイタルを開催する他、クリーヴランド管、モスクワ・フィル、イスラエル・フィル、フィンランド放送響、NHK交響楽団など国内外の著名オーケストラと多数共演、50曲以上のピアノ協奏曲を演奏してきた。CDは多数録音しており、2023年にリリースした「幻想を求めて - スクリャーピン & ラフマニノフ」(ナクソス)は欧州のInternational Classical Music Awardsにノミネートされた。2024年9月、通算20作目のCD「ショパンの想い出」(ナクソス)が日欧同時発売。そのほか、珍しいピアノ作品を取り上げる演奏会シリーズ「レア・ピアノミュージック」のプロデュースや、OTTAVA、ぶらあぼweb stationでの番組パーソナリティを務め、自身のYouTubeチャンネルでも、演奏動画、解説動画、ライブ配信などで幅広い世代から注目されている。多彩なレパートリーと表現力、コンセプチュアルなプログラム、また5か国語を操り国内外で活躍中。テレビ朝日系「徹子の部屋」や「題名のない音楽会」などメディア出演も多数。第39回日本ショパン協会賞、2024年スペインのアルベニス・メダルを受賞。

20歳でクリーヴランド国際コンクール日本人初の優勝およびショパン賞受賞。パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学、コモ湖国際ピアノアカデミーにて学ぶ。これまでにカーネギーホール、リンカーン・センター、ウィグモア・ホール、サントリーホールなどでリサイタルを開催する他、クリーヴランド管、モスクワ・フィル、イスラエル・フィル、フィンランド放送響、NHK交響楽団など国内外の著名オーケストラと多数共演、50曲以上のピアノ協奏曲を演奏してきた。CDは多数録音しており、2023年にリリースした「幻想を求めて - スクリャーピン & ラフマニノフ」(ナクソス)は欧州のInternational Classical Music Awardsにノミネートされた。2024年9月、通算20作目のCD「ショパンの想い出」(ナクソス)が日欧同時発売。そのほか、珍しいピアノ作品を取り上げる演奏会シリーズ「レア・ピアノミュージック」のプロデュースや、OTTAVA、ぶらあぼweb stationでの番組パーソナリティを務め、自身のYouTubeチャンネルでも、演奏動画、解説動画、ライブ配信などで幅広い世代から注目されている。多彩なレパートリーと表現力、コンセプチュアルなプログラム、また5か国語を操り国内外で活躍中。テレビ朝日系「徹子の部屋」や「題名のない音楽会」などメディア出演も多数。第39回日本ショパン協会賞、2024年スペインのアルベニス・メダルを受賞。

公式サイト <https://kotarofukuma.com/>

©Tomoko Hidaki

Conductor

川瀬 賢太郎

Kentaro Kawase

名古屋フィルハーモニー交響楽団音楽監督

1984年東京生まれ。私立八王子高校芸術コース、東京音大音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)卒。指揮を広上淳一、汐澤安彦、ジョン・ミュンフンなどの各氏に師事。2006年10月東京国際音楽コンクール(指揮)で1位なし2位(最高位)、2007年3月入賞者デビューコンサートで神奈川フィルと大阪センチュリー響を指揮。その後、全国のオーケストラから招かれる。海外ではイル・ド・フランス国立管、ユナイテッド・インストゥルメンツ・オブ・ルシニンなどを指揮。オペラでも、細川俊夫『班女』『リアの物語』、モーツァルト『後宮からの逃走』『フィガロの結婚』『コジ・ファン・トゥッテ』『魔笛』、ヴェルディ『アイダ』などで活躍。2007～09年パンフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)アシスタント・コンダクター。2011～19年指揮者、2019～23年正指揮者を経て、2023年4月名古屋フィル第6代音楽監督に就任。2014～22年神奈川フィル常任指揮者。現在、札幌交響楽団正指揮者、アンサンブル金沢パーマネント・コンダクターも兼任。三重県いなべ市親善大使。2015年渡邊暁雄音楽基金音楽賞、神奈川文化賞未来賞、2016年齋藤秀雄メモリアル基金賞、出光音楽賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。東京音大作曲指揮専攻(指揮)特任講師。

1984年東京生まれ。私立八王子高校芸術コース、東京音大音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)卒。指揮を広上淳一、汐澤安彦、ジョン・ミュンフンなどの各氏に師事。2006年10月東京国際音楽コンクール(指揮)で1位なし2位(最高位)、2007年3月入賞者デビューコンサートで神奈川フィルと大阪センチュリー響を指揮。その後、全国のオーケストラから招かれる。海外ではイル・ド・フランス国立管、ユナイテッド・インストゥルメンツ・オブ・ルシニンなどを指揮。オペラでも、細川俊夫『班女』『リアの物語』、モーツァルト『後宮からの逃走』『フィガロの結婚』『コジ・ファン・トゥッテ』『魔笛』、ヴェルディ『アイダ』などで活躍。2007～09年パンフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)アシスタント・コンダクター。2011～19年指揮者、2019～23年正指揮者を経て、2023年4月名古屋フィル第6代音楽監督に就任。2014～22年神奈川フィル常任指揮者。現在、札幌交響楽団正指揮者、アンサンブル金沢パーマネント・コンダクターも兼任。三重県いなべ市親善大使。2015年渡邊暁雄音楽基金音楽賞、神奈川文化賞未来賞、2016年齋藤秀雄メモリアル基金賞、出光音楽賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。東京音大作曲指揮専攻(指揮)特任講師。



Orchestra

名古屋
フィルハーモニー
交響楽団

Nagoya Philharmonic Orchestra

中部・東海地方の音楽界をリードするプロ・オーケストラ。革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信。愛称は「名(めい)フィル」。2023年4月第6代音楽監督に川瀬賢太郎が就任。ほかに現在の指揮者陣は、名誉音楽監督＝小泉和裕、桂冠指揮者＝小林研一郎、名誉指揮者＝モーシェ・アツモン、名誉客演指揮者＝ティエリー・フィッシャー。2023年4月小出稚子が第4代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。1988年ヨーロッパ2か国、2000年アジア8か国、2004年ヨーロッパ3か国、2006年アジア7か国のツアーを実施、いずれも大成功を収める。楽団創立は1966年7月10日。1973年に名古屋市の出捐により財団法人に、2012年に愛知県より認定を受け公益財団法人となる。現在は(定期演奏会)、有名作品を中心に取り上げる(市民会館名曲シリーズ)、障がいのある方を対象とした(福祉コンサート)、学校を訪問する(名古屋市内小・中学校移動音楽教室)など、バラエティに富んだ年間110ほどの演奏会に出演。

第48回 名古屋国際音楽祭 2025年4月20日(日)～7月13日(日)

会場 4/20日・5/31日・6/22日・6/28日・7/13日:愛知県芸術劇場コンサートホール | 7/5日:愛知県芸術劇場大ホール

4/20日

(15:00 開演)

名古屋国際音楽祭
オープニング・ガラ・コンサート

6/28日

(15:00 開演)

山田和樹 指揮
バーミンガム市交響楽団

5/31日

(15:00 開演)

ミハイル・プレトニョフ
ピアノ・リサイタル

7/5日

(14:00 開演)

英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団
「眠れる森の美女」

6/22日

(15:00 開演)

ラハフ・シャニ 指揮
ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団

7/13日

(15:00 開演)

ジョナサン・ノット 指揮
スイス・ロマン管弦楽団

※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。

※いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。※開演後の入場については、入場制限をさせていただきます。